

元



17年11月12日

総監 1566 號

監査 1589 號

費 校 淨
送 合 書

17.11.27
後 12

南 長

経 課 総
長 長

係 監
長 査

出 議

出 議

出 議

出 議

例規

課長名

恩給課長宛

分類所得税徴収高計算書ニ関スル件

対野恩第五四二四号(一〇、二〇)

右ハ来意、通處理相成度

淨書不要

本件個人別内譯ノ附記ハ所得税法施行細則第三條ノ下段請求ノ例ニ準シ規定セルモノト被思料ニ給與金振替預入ノ場合ニアリテハ過誤納金ハ次期支結期ニ於テ要給者ノ貯金ヨリ補正スルヲ以下現金ニテ還付スル場合ナク、而モ之カ個人別内譯ハ当該期等ニ依リ必要ノ場合ハ何時ニテモ証明シ得ル者ナリ以テ之カ記載方法ノ簡易化ニ付所轄支橋税務署(高橋屬)ニ電話照会ノ處同意アリタルニ付末意ノ通承認ノコト、致度

参考

○所得税法施行細則沿革

第三條 甲種ノ取立利子所得、甲種ノ勤勞所得若ハ甲種ノ退職所得又ハ所得税法第六條第一項及所得税法人

(第百條)

税内外地因時法第三十二條第一項ニ規定スル利子若ハ利益ニ付所得税ノ過誤アリタル為之カ下段ヲ請求セントスルモノハ其ノ事由ヲ具シ其ノ利子、配當金又ハ給與金ノ支拂地ノ所轄税務署長ヲ經由シテ税務監督局長ニ請求書ヲ提出スヘシ

○分類所得税ノ免除ヲ受ケンムトスル受給者ハ毎年一月十日迄ニ控除申請書ヲ支給局ニ提出スベキ義務アル處期日間際ニ提出シ支給局ニ於テ之カ送付ヲ遅延セシムル為恩給課ニ於テ税金徴收上行違ヲ生ス次第ナリ、之カ為支給局ニ對シテハ毎年通信局報ヲ以テ相當注意ヲ喚起シ居レルガ事故減サセザルニ付之等要給者ニ對シテハパンフレット又ハ申請書用紙等交付方別途考案ノ見込

一、振替預入受給者：、約五万三千人
控除申請書提出者：、約八千人

裏面白紙

貯恩第五四二四號

昭和十七年十月二十日

恩給課長

總務課長殿



分類所得税徴収高計算書ニ關スル件



前支給期ニ於ケル税金ノ不足徴収又ハ過徴収ニ係ルモノヲ次期支給期ニ於テ徴収セル税金ヨリ補整シタル場合ハ昭和十五年六月貯業第一五四八號通牒ニ依リ首題計算書ニ補正シタル受給者ノ住所氏名金額内譯ヲ一々列記シ來タリタル處補正セル分ノ内譯必要ノ場合ハ當該原簿ニ依リ明白ニシテ且税金徴収額拂込ニハ個人別内譯書ヲ添付セス補正セル分ニ限り個々ノ事由ヲ列記スルノ要薄キ様思料セラル、ニ付手數輕減ノ爲自今當課ヨリ經理課ニ送付スベキ計算書ニハ左ノ如ク其ノ補正濟額ヲ摘要欄ニ附記スルコトニ改正方御詮議相成度

記

前期過徴収(又ハ不足徴収等)何圓差引減(又ハ増)

裏面白紙

縣業第一五四八號 通帳ニヨリ 前期退還金
係ハ分類所得控金ヲ次期支取期ニ於テ補整ス
ル件歟

昭和十七年一月迄	大八回
四月迄	一一一
七月迄	九三七
十月迄	一一三

控除額入一五万三千二百
其中控除申請提出約八千二百
当月中受入額一約八割

貯蓄第一五四八號

通牒

昭和十五年六月十八日

業務課長

恩給課長殿

年金恩給給與金ヨリ所得税徴収方ニ關スル件

右ニ關シテハ義ニ貯蓄第一一一二號(三六)ヲ以テ通牒置、處尙左記事項了知、上相當處理相成度

追テ税金、徴收上生シタル貯金原簿面等、事故處理方ニ付テハ各原簿所管處ニ對シ別紙寫、通リ通牒置候爲念

記

一 恩給法第五十八條ノ規定ニ依リ恩給ノ一部ヲ停止セラレタルモノニ在リテハ其ノ實際ノ支給額ニ對シ課税ヲ爲スコト

二 年金又ハ恩給ト其ノ他ノ給與トヲ受クル者ヨリ提出アリタル基礎控除申告書ハ適宜整理保管シ置キ毎年一月末日迄ニ支拂調書ト共ニ之ヲ所轄稅務署ニ送付スルコト

年金恩給又ハ二以上ノ年金又ハ恩給ヲ併セ受クル者ヨリ提出ノ基礎控除申告書モ亦有三筆
ジ處理スルコト

受給者ト事實上別居スル家族ト雖モ左記ニ該當スルモノハ特ニ之ヲ同居家族ト看做シ取算
フコト

(4) 學業又ハ病氣療養ノ爲一時別居スル家族

(5) 受給者カ艦船乗組員ノ場合ニ於テ受給者ノ住所ト認メラルヘキ場所ニ居住スル家族

(6) 受給者カ出征又ハ入營中ノ場合ニ於テ受給者ノ住所ト認メラルヘキ場所ニ居住スル家族

(7) 受給者カ轉勤等ノ事由、勤務場所ノ都合等ニ依リ暫時別居スル家族

受給者自身ガ六十歳以上ナルカ若ハ不具廢疾者ナル場合ト雖モ之ヲ税法上ノ扶養家族トシ
テ控除スルコトハ認メザルコト

受給者他ノ勤務所得ヲ併セ受ケ且其ノ扶養家族數人アル場合ニ於テハ受給者ノ選擇ニ依リ
家族中數人ノ分ヲ年金又ハ恩給ヨリ控除シ剩餘ノ家族ノ分ヲ他ノ所得ヨリ控除スルコトハ
之ヲ認メ差支ナキモ家族一人分ノ控除金額ヲ二以上ノ所得額ヨリ分割シテ控除スルコトハ
之ヲ認メザルコト

六 生命保険料、控除ハ當該保費力受給者本人モ於テ契約ノモリニ依リて算出スルコト
 七 生命保険料ニ付テモ二以上ノ所得ヨリ其ノ控除金額ヲ分割シテ控除スルコトハ之ヲ認メ
 ルコト
 ハ 養兵保険料、郵便年金、掛金及健康保険、保険料モ亦生命保険料ニ準ジ其ノ控除ヲ認ムル
 コト
 ニ 拂込書附屬徴収高計算書、「支給額」欄ニハ税金、徴収額シタル各支給額ノ圓銀以上ノ
 合計額ヲ計上シ支ナキコトハ尙拂込書及計算書用紙ハ追テ年金取扱い欄中ニ相當規定
 セラルル見込トス
 三 税金、徴収額、不足徴収又ハ過誤徴収ニ係ルモノハ左記ニ依リ處理スルコト
 (一) 徴収過及不足徴収ノモノハ郵便貯金ヨリ相當額ノ拂出金受入ヲ俟テ税金ノ追加拂込ヲ爲
 スト共ニ通帳及關係氏名票面金額ノ訂正方相當措置スルコト
 (二) 過誤徴収ニ係ルモノハ受給者ヲシテ所轄稅務監督局長宛ノ下戻請求書(給與ニ關スル證
 書ノ記番號、過誤納年月日及納付局名、還付ヲ受クベキ金額等ヲ記載シタルモノ)ヲ作
 成提出セシメ其ノ餘白ニ日附印ヲ押捺シ之ヲ所轄稅務署宛送付スルコト(還付金ハ稅務

一、前項ニ依リ直接受給者ニ支拂方取計ヲモトス
（目通帳額收ノモノニシテ前號ニ依ラズ次ノ支給期ニ於ケル徵收稅金ヲ以テ補整スルヲ相宜
ニ便宜ト認ムルトキハ次期支給期ニ於テ徵收シタル稅金ノ中ヨリ當該通帳額收額ニ相當
スル金額ヲ事故發生月分ヲ以テ該受給者ノ郵便貯金ニ振替預入（振替預入通知書ニ
ルト共ニ通帳及關係氏名票金額ノ訂正方相當措置スルコト）
二、前項ニ依リ徵收又ハ返還シタル場合ハ拂込書附屬徵收高計算書ヲ摘要欄ニ「何町何番地何
誰ヨリ前期徵收洩ノ分何圓何錢追徵、何町何番地何誰ニ前所誤徵收ノ分何圓何錢返還差引
何圓何錢増（又ハ減）」ノ如ク附記（摘要欄狹隘ニシテ記載シ難キトキハ別紙ニ記載シ計
算書ニ添附）シ追徵又ハ返還ニ因リ増減シタル額ヲ以テ拂込書ノ拂込金額トシ相當處理ス
ルコト

添付物



貯蓄第一五八號 通 昭和十五年六月十八日

九時三十分

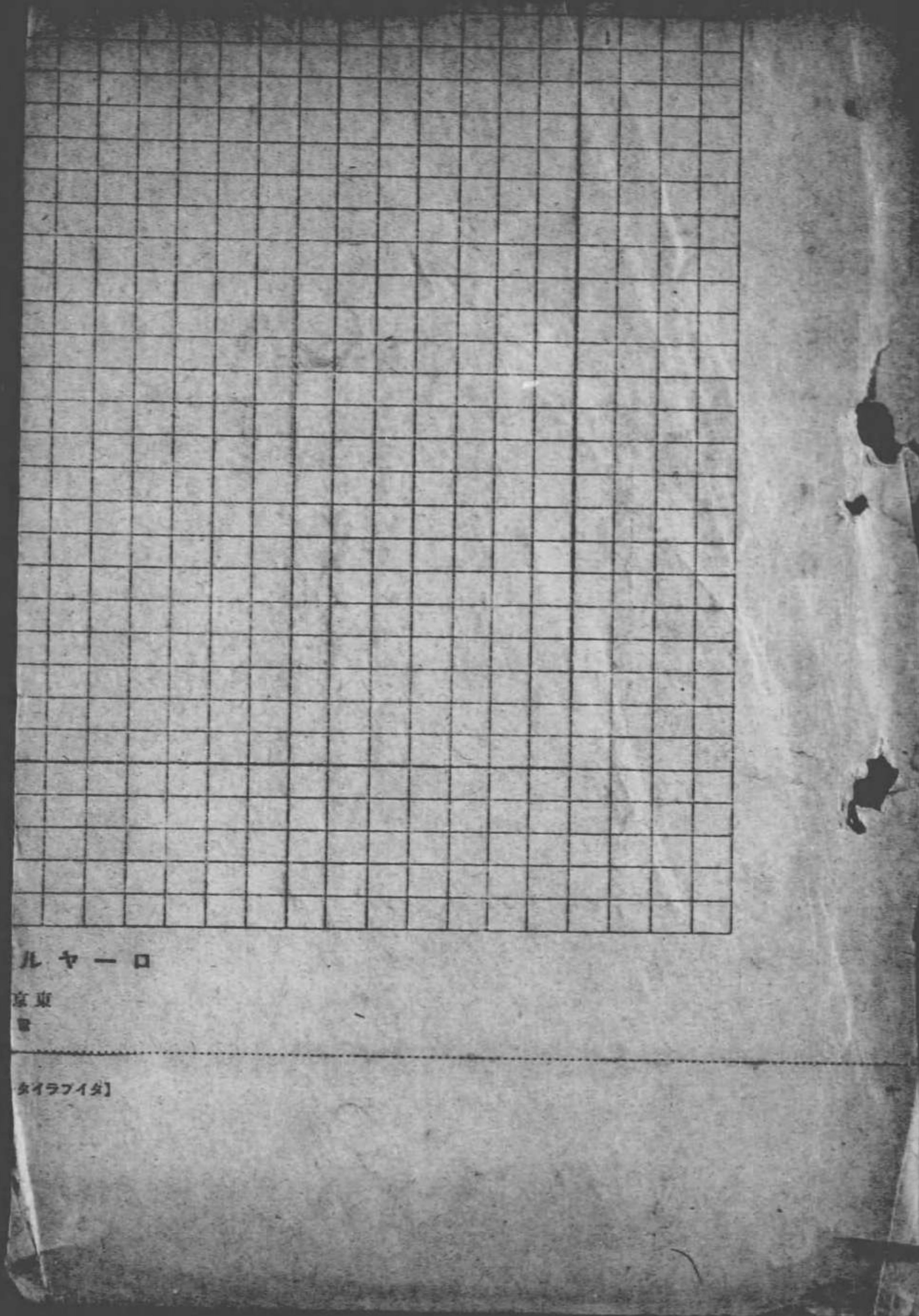
年金恩給給與金振替預入ニ關スル件

所得税法ノ改正ニ伴ヒ税金ノ徴收洩、不足徴收又ハ過誤徴收等ニヨリ振替預入額ニ相違ヲ生
タル旨恩給課ヨリ通知ヲ受ケタルトキハ左記ニ依リ處理スルコトト相成候條右了知ノ上相違
量相成度

記

- 一 税金ノ徴收洩又ハ不足徴收ノ爲振替預入額過剩ノモノハ一般ノ例ニ依リ該過剩額ヲ原簿面ヨ
リ補正拂出スコト
- 二 税金ノ過誤徴收ノ爲振替預入額不足ノモノハ事實過拂ノ例（用紙ハ過拂關係ニ使用スルモノ
徴收ノ分ト表）ニ依リ原簿面ニ補正受入ヲ爲スト共ニ次ノ支給期ニ於テ該額ニ相當スル振替
預入金ヲ受入レタルトキハ一般ノ例ニ依リ補正拂出ヲ爲スコト
- 三 其ノ他ハ從來通りノコト

裏面白紙

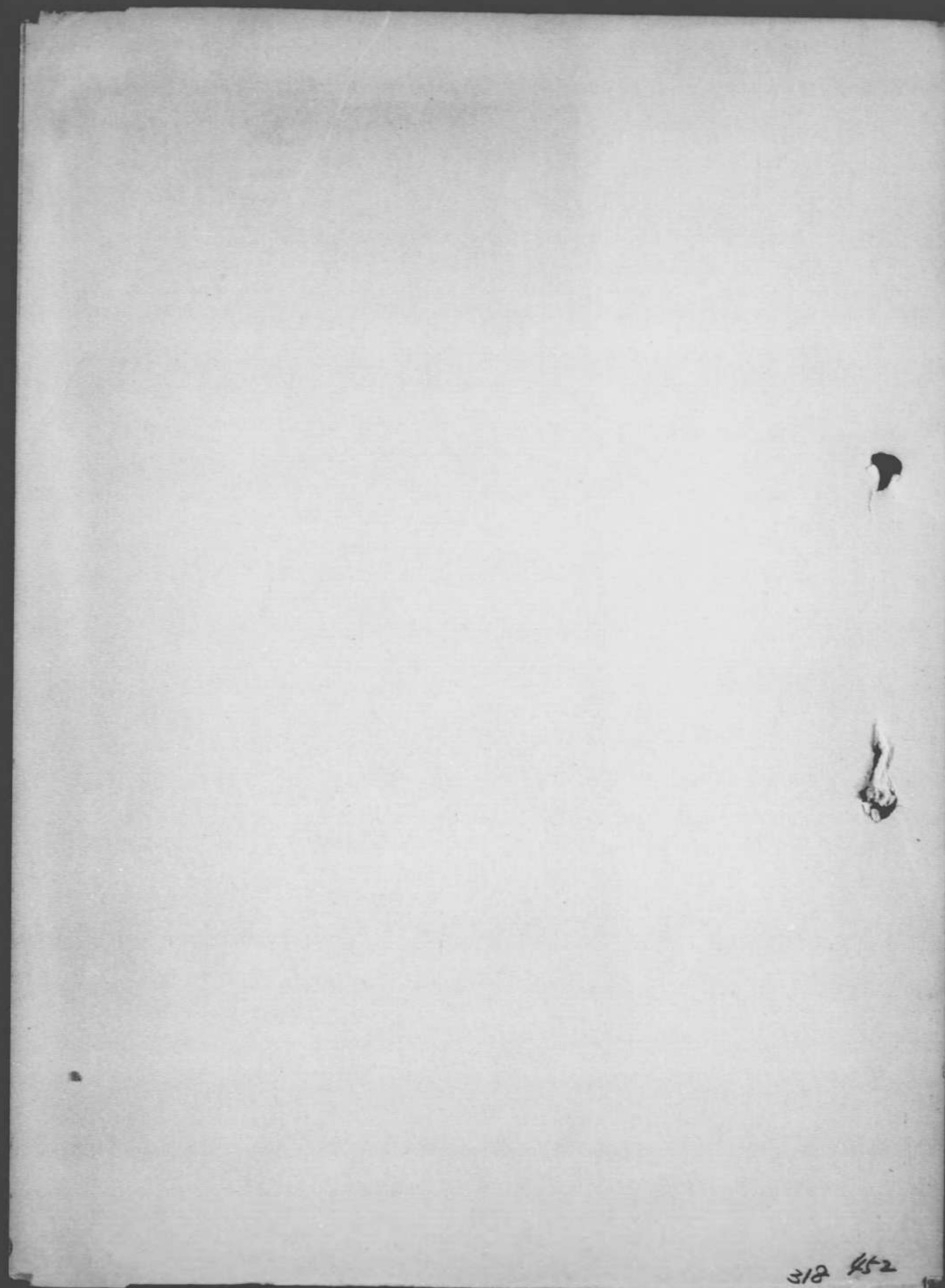


ルヤ一ロ

京東
電

タイラフイタ]

裏
面
白
紙



318 452

